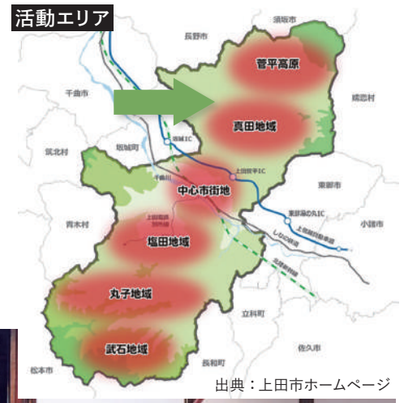
住まい活動助成

真田ゆめぐるproject.

長野県上田市

空き家を活かした「みんなの居場所づくり」と繋がりめぐる地域のヨコの関係づくり



出典：上田市ホームページ

大正時代から残る古民家をDIYで改修した「さんかくのいえ」。イベントなどに活用している

団体設立経緯

初期の立ち上げメンバーは、子育てサークルで出会いました。ハンドメイドや野菜づくりなど、各々が得意とすることを地元の人に知ってもらいたいと考えたのがきっかけです。

その後、役員の担い手不足によってサークルが解散。真田地区は人口1万人弱の範囲に小学校が4つあり、入学前にみんなが交流できる貴重な機会が損なわれました。

子どもたちと地域の人をもっとつなげたい、真田で子育てをはじめる人に楽しさを伝えたい、そうして自分たちも楽しく暮らしていきたい、との思いを持って設立したのが「**真田ゆめぐるproject.**」です。

活動概要と活動対象範囲

長野県の東、上田市内の「**真田地域**」と一部「**菅平地域**」が私たちのメインフィールドです。

活動は「地域の楽しいこと」を見つけ、多くの人とつながって学び、「真田っていいところだね」と、多くの人に体感してもらうこと。公園や公民館を利用してイベントを開催したり、地域のお祭りで子どもコーナーを担ったりしながら活動を続けてきました。

地域の内と外がつながる場所を増やしたいと思い、SNSでの情報シェアやこちらから外に出向くなど、実験的にさまざまなことを試しています。

活動に至った理由や背景

新型コロナウイルス感染症の拡大というこれまで直面したことのない事態への対応として、普段の活動場所である公民館や公園などの公共施設が利用中止となりました。せっかくつながりかけていた地域の人々が、再び分断されるという経験をしました。

団体には、「次のイベントはいつですか?」、「子どもたちが遊べる、集まれる催しはありますか?」などのメッセージが寄せられています。このコロナ禍において、どうにか地域で誰もが集える居場所をつくれないかと模索した結果、今回の構想にたどり着きました。

活動内容と成果

真田ゆめぐるproject.ではこの1年、**空き家のDIY講座**を中心に、みんなで過ごすということをしてきました。活動拠点は、まち歩きイベントをしたときに見つけた大正時代の古民家。大家さんに直接交渉をしてお借りし、「**さんかくのいえ**」と名前をつけて居場所づくりをしています。実施したのはハード面の整備作業ですが、そうした活動を通じて描きたかったのは、知り合いが増えて楽しく暮らしていくことができるまちの景色。今年、拠点の整備が進んだことで滞在できる時間が延びて使ってくれる人が増え、お喋りの機会も増えました。

私たちが主催するDIY講座以外にも、お喋り会やプチマルシェの会場として色々な団体、個人、店舗が利用してくれています。2階のギャラリー兼アトリエも整備を進めることができ、11月には地域の作家さんたちと初めての企画展を開催することができました。

秋には土間ができたことで、漬物や味噌づくり、餅つきなど、地域で昔から引き継がれてきた手仕事の場が整いました。みんなで仕込みをするなかで、「食を通じた交流は一緒に食べるだけではない」という発見があり、来年以降も続く楽しみが増えたと感じています。

発足当初に当団体が開催していた大規模なマルシェや、一度に百数人が集まるイベントは相変わらず実現が難しくはありますが、もっと日常に近いところで、情報交換やチャレンジが生まれる状況ができ上がりつつあります。

●空き家を活かしたDIY講座

「た」のしい空き家を「ふ」やす会を、タフにやっていこう、ということで「TAFU.」と名付けました。当初の予定を少し変え、公開打ち合わせの日を2日と、月2回の活動日というスケジュールで進めています。

改修前の室内外。使わなくなった家財や荷物などが置かれていた

改修は2021年5月からスタートした。建具を加工してガラス窓を入れている様子

2021年5月からスタートしました。内容は押し入れの解体、りんご箱で本棚の制作、建具を集めてガラス窓を組み合わせる、壁を固めて漆喰を塗る、ギャラリーの床板を張る、和室を解体して土間にする、石を並べたファイヤーブースをつくる、の7つです。なかでもりんご箱と漆喰塗り、床板張りの3つが人気で、「自宅でやろうと思っていて習いに来た」という方が何名もいらっしゃいました。後日自宅の壁を塗ってみました!と、お知らせいただき、うれしく思っています。

●他団体、地域、行政との関わり

ワークショップは講師に地元の工務店さん、左官屋さん、庭師さんをお呼びして、プロの技を教えてもらいました。他にも、地域の空き家問題に取り組む「まにまに」さんや、近隣市町村で古民家シェアハウスを営む248（つじや）さん、近所の整備士さんに機材や道具をお借りしたり、市内各所にチラシを置かせてもらったりと、多くの方に

DIY講座形式で参加者とともに、半年ほどかけて改修した

改修後の1階

2階は改修を経て、ギャラリー兼アトリエ（右）として活用している

いろんな方面で力を貸していただいて実現したものです。

周辺と市内スポットへのチラシ配布、SNSの活用、新聞取材、直接の声かけなどで開催を告知しました。参加層はさまざまで、下は幼稚園児から上は60代まで、男女問わず各回興味のある人が集まりました。また当初の狙い通り、移住を考えていて雰囲気を味わいたくて来てみた、という方もSNS経由でいらっしゃり、今は一緒に住める家を探しているところです。

行政からは地域おこし協力隊の方が加わってくださり、「活動を通じて、地元企業や若い人たちとの接点ができてうれしい」とご感想をいただいています。

また、上田市で始まった地域通貨「もん」プロジェクトを実施している商工課の方が視察に来てくださって、「講座に来てくれた人に50もんプレゼント」、「100もんで好きな古材ひとつ差し上げます」など、イベントに合わせた古材の循環やDIYのお手伝いで、地域通貨の活用にも取り組みました。もんの参加スポットの記載を見て、わざわざ真田まで訪れた人がいて驚きました。

周辺にお住まいの方、主にはおじいちゃんおばあちゃんですが、お散歩中に活動をのぞきに来てくれる人が現れはじめました。お孫さんと参加してくださったり、参加者に自分のつくっている米、野菜を振る舞ってくれたりと、少しずつご近所付き合いが実現していると思います。

●断熱と防犯性の向上

地域の建具屋さんにお願いをして、障子をガラス戸に変更、鍵がかかるように改修をしました。鍵を閉められるので作家さんの作品を設置・販売できるようになり、秋にはお試しでアロマウォーター、編み物、組紐、写真集などの委託販売を受け付けました。

また紙からガラスになっただけでも室内の暖かさが大きく変わり、過ごしやすい空間になったと感じています。サッシと一緒に、開きにくかった雨戸も直してもらい、イベント会場として利用してくれた人からも「使いやすくなった」との声をもらいました。

子連れOKのワークショップや、餅つきなどのイベントを開催する

●ヨコの関係づくり

改修した「さんかくのいえ」は、さまざまなカテゴリの人に使ってもらうことも大切にしていますが、なによりも「まちと出会う起点」でありたいと考えています。講座を企画するときに心掛けているのは、なるべく作業を簡単にして、知らない人同士が話せるくらいの余裕を持たせること。本格的なこと、具体的にマスターしたいことがある人は講師とマンツーマンの時間をとって習ってもらいますが、基本は休憩をちょこちょこ挟み、お茶は持ち寄りにして、手を動かしながら口も同じくらい動かせる講座を目指しています。

そうして一緒に過ごしているうちに、ちょっとした車の傷を直したい人と自動車整備士さん、自宅の庭木を減らして整えたい人と庭師さん、無農薬野菜をつくる農家さんと子育て世代のお母さんが出会ってお願いごとをしたり、子ども服やおもちゃのお下がりの交換を約束したりしています。知り合うきっかけが「サービス」ではなく「雑談」なので、「どこに相談するでもなかったけど、解決できてよかった」という声が聞こえるのがうれしく、実現したかったヨコの関係が生まれているのではないかと考えています。

移住してこようと思っている人、してきた人、県外から観光よりも一歩深いところで遊びに来たいと思ってくれている人たちも自然と溶け込み、情報の行き来が生まれています。人と人との関係性は、たった1年で育つものでもないと思いますが、これからもこうした小さな瞬間がたくさん生まれる場でありたいと感じています。

課題と解決方策

想像以上に力仕事が多く、活動を中心に担ってきた女性メンバーだけではマンパワーが足りないワークショップが多くありました。こうした課題は、周辺住民の方や他団体、企業などに呼びかけて男手を募り、結果として新たな仲間につながることができたと思います。

活動をしているなかで集まってくる移住相談や空き家探しの相談、また空き家を持っている大家さんからの相談は、上田市の担当課と情報共有の強化を図りたいと相談をしています。また、自分たちの手ではどうすることもできない程傷んでいる空き家の活用を持ちかけられることが出てきたため、今後は解体や古材のアップサイクルを行う業者さん、古物商の方と連携したり、それを用いたDIY講座を考えたりするなどして、受け入れの窓口を広くしていく所存です。

今後の予定

古材のアップサイクルとDIY講座に関しては、メンバーの田尻と間藤を中心に、ある程度ビジネスとして続けていけるよう準備を進めています。特にDIY講座「TAFU.」は、「もっと身近な家具や日常に使えそうな道具などもつくってみたい」とのリクエストを受け、空き家利活用だけでなく、普段に活かせる講座として実施していく予定です。

改修した古民家「さんかくのいえ」では引き続き、地元の人が集まるマルシェ、染め物ワークショップなど、楽しいことを担いながら関係性を育む活動を続けていきます。

真田ゆめぐるproject.

2016年5月設立／メンバー数：4人／代表者：間藤 まりの（まとう・まりの）
●〒386-2203　長野県上田市真田町傍陽6608-4
☎080-5145-9851　FAX 0268-61-5501　sanadayumeguruproject@gmail.com
www.facebook.com/yumeguru/　@sankaku_no_ie

上田市真田町を拠点とし、田舎で楽しく暮らしていくことを目的に、DIYや染め物、空き家を活用した拠点づくり、古材のアップサイクルなど、地域をつなげるためのさまざまなイベントや講座を開催しています。